

「捕鯨文化遺産とくじら食文化を守る長門市議会議員連盟」

設 立 趣 意 書

かつて、日本海には冬になると多くのくじらが姿を現し、ここ北浦地域ではそのくじらを捕獲して栄えた時代があり、中でも長門通^{かよい}浦や川尻^{かわしり}浦は北浦捕鯨の基地として、「一頭獲れば七浦賑わう」と言われたような繁栄をもたらしました。浦人たちは犠牲となったくじらたちへの感謝や哀れみの情、そして畏敬の念を忘れることなく、「鯨墓」、「鯨位牌」、「鯨鯢過去帖^{けいげい}」での供養を営んで参りました。以来四世紀に涉って今に受け継がれている鯨回向^{えこう}（鯨法要）とこれらの文化遺産は、くじらと日本人との深い結びつきと、日本の捕鯨とくじら食文化の原点を世界に発信するものとして、郷土の輝かしい歴史と伝統を誇りに思います。

近世の捕鯨基地・長門市通をはじめとした捕鯨文化遺産や、長門市が日本の近代ノルウェー式捕鯨の発祥地であったことなどを、誇りを持って受け継ぐと共に、先人が築いてきたくじら食文化の継承・発展を図ることを通じて、長門市の活性化に寄与することを目的として「捕鯨文化遺産とくじら食文化を守る長門市議会議員連盟」（仮称）を設立しようとするものです。

議員各位におかれましては、本設立趣旨につきまして御理解・御賛同の上、なにとぞ御加盟賜りますようお願い申し上げます。

令和4年1月24日

捕鯨文化遺産とくじら食文化を守る長門市議会議員連

発起人 田村 大治郎
林 哲也
早川 文乃